

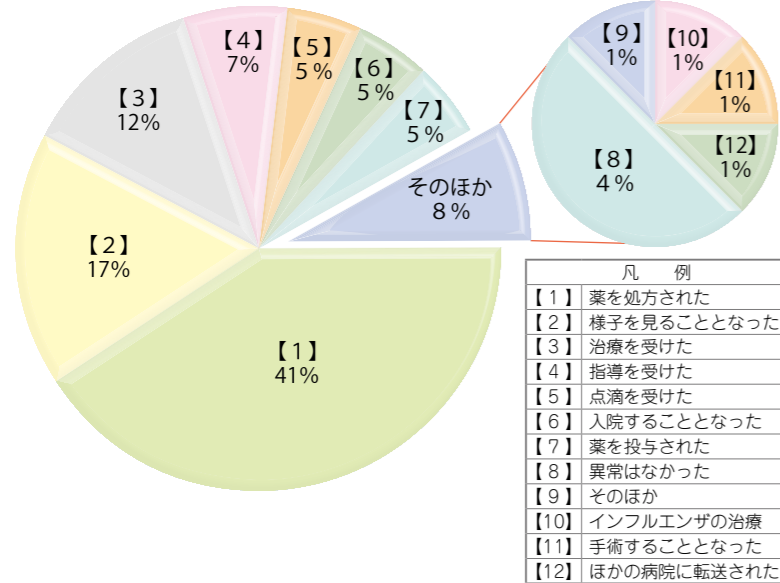
「患者アンケート」調査結果の概況

地方や都市部を問わず全国規模で深刻化する医師不足や診療科の閉鎖と、急増する救急搬送に伴い、救急医療の存続が危ぶまれ「地域医療」が崩壊に直面し、救えるはずの命が助からない事態が現実になるようとしています。そこで今回、本市における今後の医療対策に取り組むこ

とを目的に、川内市医師会立市民病院および済生会川内病院の協力を得て、夜間や休日など診療時間外に病院を利用した方を対象に「患者アンケート」を実施しました。ここでは、主な調査結果についてお知らせします。

- 調査期間…平成20年11月～平成21年1月(3カ月間)
- 調査方法…アンケート回答方式
- 調査内容…□性別/年齢/居住地/来院時間とその理由/受診状況/診断結果 □自覚症状
□自覚症状発症の時期 □受診医療機関を利用した理由 □主な交通手段
□119番通報した理由(該当者) □「自由意見欄」への記入(任意回答)
- 回答率…88.94%(対象者数850件 回答者数756件)

受診者の「今回の症状に対する処置・診断結果」(複数回答)

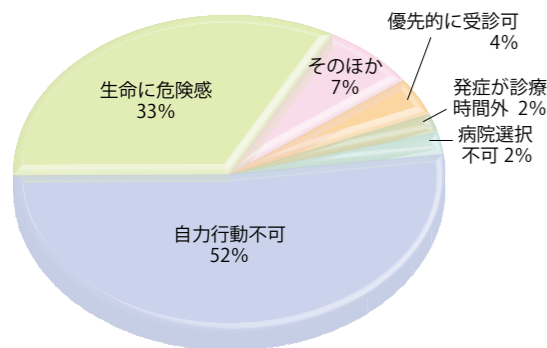


■特に治療などを
受けなかったのは3割
「薬を処方された」とする回答が41%と最多で、「様子を見ることとなった(17%)」、「治療を受けた(12%)」の順となっています。また、「異常なし」・「様子見る」・「指導」の割合が28%を占めています。

なお、756件の回答のうち、「異常はなかった」とのみ回答したのは28件、「様子を見ることとなった」とのみ回答したのは54件である一方、「入院することとなった」・「手術することとなった」と回答したのは延べ47件です。

別の調査項目において、今回受診の自覚症状のうち、「発熱」とする回答が16%と最多で、「せき・鼻水(11%)」、「そのほかの痛み(10%)」の順となっています。

119番通報にて 救急車両を要請した理由

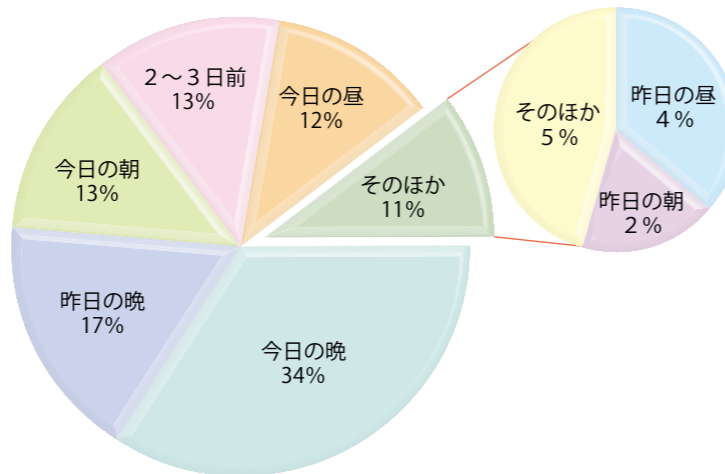


■救急要請の半数は
「自力で行動できなかったため」
「自力行動不可のため」とする回答が52%と最多で、「生命に危険感(33%)」、「そのほか(7%)」の順となっています。「そのほか」の主な理由は、ほかの病院からの転送・紹介です。

別の調査項目において、来院時の交通手段のうち、「救急車により搬送された」とする回答は8%でその約8割は60代以上の方でした。

受診者の「今回自覚症状発症の時期」

■約8割が発症して1日以内に受診
「今日の晩」とする回答が34%と最多で、「昨日の晩(17%)」、「今日の朝(13%)」の順となっています。なお、発症しておおむね1日以内に受診した方は82%、2日以上経過した方は18%です。



発症後2日以上経過した方の約5割は休日に、4割は平日の夜間・深夜～早朝に受診しています。

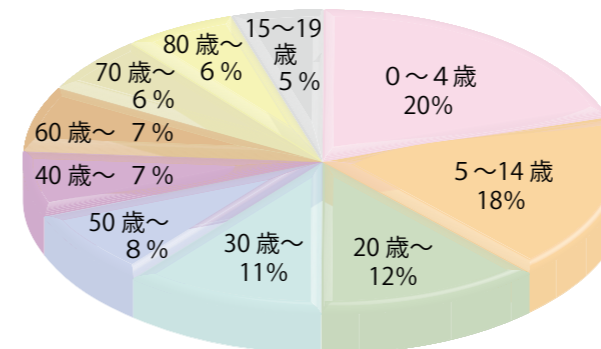
地域医療の崩壊が叫ばれる背景の1つとして、昼間に病院へ行けるのに仕事の都合などで夜間に行ったり、軽症なのに夜間に病院へ行く方が多いためと考えられています(いわゆる「コンビニ受診」)。このような状態が続くと、夜間の救急医療体制が崩壊し、重症患者を受け入れるべき病院の確保が困難となり、適切な診療が受けられなくなります。

医療資源は限りあるものであり、私たちの命を守るセーフティーネットです。

「助かる命を救いたい」をキーワードに、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、今一度、みんなで考えてみませんか。

● 問合せ＝本庁地域医療対策課地域医療グループ ☎0996(22)8848

受診者の「年齢」

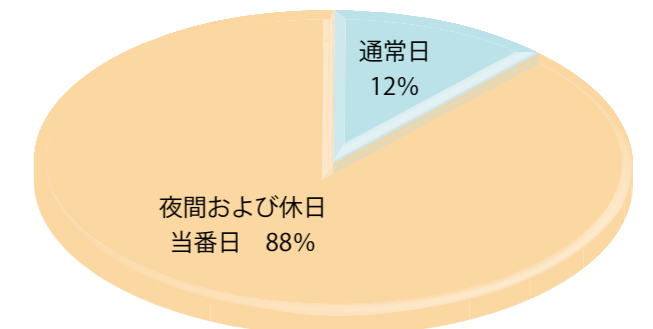


■60代までの利用割合が9割を占める
60代までの割合が88%、うち0～14歳までが38%を占める一方、70歳以上の割合は12%となっています。

未成年の方の約5割は休日に、20～50代の約5割は平日の夜間・深夜に、60代以上の約4割は休日に受診しています。

来院時間について

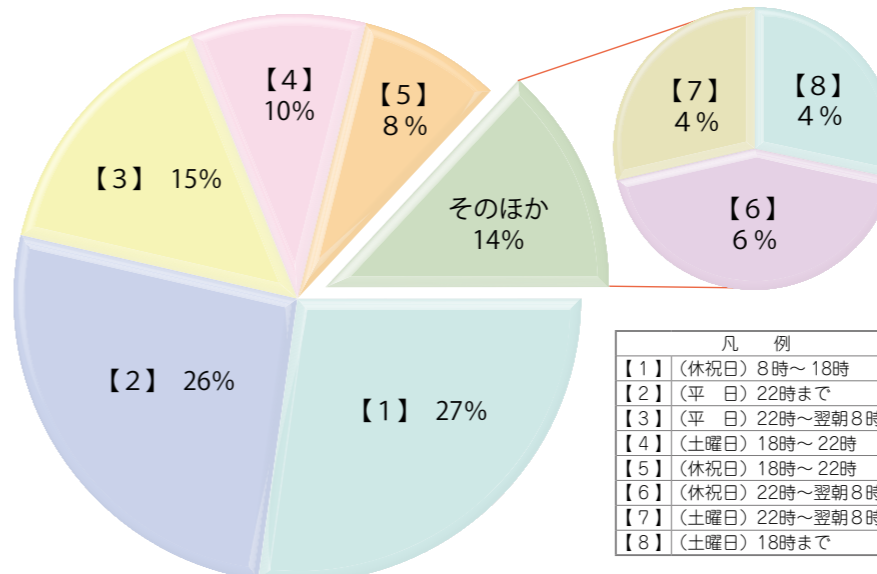
「夜間救急当番日・休日当番日」が「通常日」



■約9割が「当番日」に利用
約9割の方が当番日を利用しており、その約4割は未成年の方です。

今回、回答いただいた方は男女ともに約5割で、男性の約6割は未成年、女性の約5割は20～50代の方です。

受診者の「来院時間帯」



■休日の日中が最多

休日の8～18時までの間が最多(27%)です。また、平日休日の別を問わず、日中～夜間(8:00～22:00)までの利用割合が75%、深夜～早朝(22:00～8:00)までの利用割合が25%となっています。

なお、平日休日の別を問わず、22時までに受診した約5割は未成年、22時以降に受診した約5割は20～50代の方です。

別の調査項目において、その時間帯に病院を訪れた理由のうち、「いつでも」もしくは「待つことなく」受診できるからと答えた方78人の約5割は未成年、約4割は20～50代、約1割は60代以上の方です。